



中妻子供の家保育園

2020/10/01 発行



今年の夏も暑かったですね。ようやく夏が終わり、過ごしやすくなってきました。これから皆さんは、どんな秋を楽しみますか？好きな事をするためには、朝起きてから夜寝るまで働く目は大切です。10月10日は、目の愛護デーです。普段の生活を振り返って目の健康を守りましょう。

薬を飲んだあとはこんなところに注意

子どもに薬を飲んでもらうのはひと苦労...



ようやく飲んでくれるとホッとしますよね。でも、そのあとにおうちの方をお願いしたいことがひとつ。お子さんの観察です。

子どもは、副作用や不調があってもうまく言葉で伝えられないことがあります。注意してみてください。

こんなところに注目!

呼吸や様子に変化は？

アレルギー反応は出ていない？
皮膚の発疹や赤みなど

薬を吐いていない？

便はゆるくない？

いつもと様子が違うなと思ったら、早めに医師や薬剤師に相談しましょう。

まぶたの腫れは「ものもらい」?



まぶたが腫れて痛い「ものもらい」。医学用語では「麦粒腫」と言いますが、地域によっていろいろな呼び方があります。

北海道 『めつば』 近畿地方 『めばちこ』 東海地方 『めいほ』 熊本県 『おひめさん』

ほかにも
めんぼ、
めもらい、めぼした、
めぼうなど

ものもらいは、まぶたの汗や脂を出す腺に細菌が感染し、赤く腫れる病気です。汚れた手で目をこすらない、洗顔後は清潔なタオルで顔をふくなど、目のまわりをキレイに保って予防しましょう。



手足口病について

手足口病は、1～4歳の幼児を中心にエンテロウイルスにより発症します。

潜伏期間は、3～6日位です。手のひら、足の甲や足の裏、口唇部、口腔内に水疱様の発疹がみられます。しかし、全ての部位に水疱が出来るわけでもありません。主症状として、発熱や咽の痛みを伴い、食欲の低下がみられます。

登園の目安としては、熱が落ち着き、普段どおりの食事が摂れることです。

薬正しく使ってサポートを



体には、病気やケガを自分で防いだり治そうとする力が備わっています。そのサポートをするのが薬。でも、使い方をまちがえると、効果がなくなったり副作用が生じることも。説明書をしっかり読んで、正しく使いましょう。

決められた量を飲む

身長や体重が大きくても、内臓の働きまで大人と同じではありません。体に負担がかかってしまうので、必ず「15歳未満」の用量を守りましょう。

決められた時間に飲む

- 食前 食事の1時間～30分前
- 食後 食事のあと30分以内
- 食間 食後2時間後くらい
- 就寝前 就寝する30分くらい前



もし忘れてしまったら、2回分を飲むのは絶対にダメ!